

【どこでもデータBOX】データをサーバーに保存する バックアップをとっておく

どこでもデータBOXとは

作成した物件データを自動でクラウド保存する機能です。
まずは仕組みと利点をご説明します。

どこでもデータBOXの仕組み



通常ソフト上で作成したデータはPCのローカルストレージ(Cドライブ)に保存されます。

CドライブとはPCに内蔵されているストレージです。

どこでもデータBOX機能を使うことで、ローカルへの保存 + 専用サーバーにもアッ

ブロードを行い、データの同時保管を行います。

□動作環境条件に当てはまる環境が必要です。

ご利用になるにはインターネット環境が必要です。

保管はソフト1本あたり1GBまで無償です。追加は月額1000円（税別□□10GBでご契約いただけます。

どこでもデータBOXを使用する利点

データのバックアップとして使える！

PCの故障などでデータが消失した場合、サーバーにはデータが残っておりますので、ダウンロードして復元することができます。

また新しいPCに変更した場合に、わざわざデータを移行しなくても旧PCで作成したデータを編集することが可能です。

他のPCとのデータ共有に使える！

会社でデータを作り自宅のPCで続きの作業をしたい、他の人が作ったデータを確認したい、といったデータを共有に便利です。

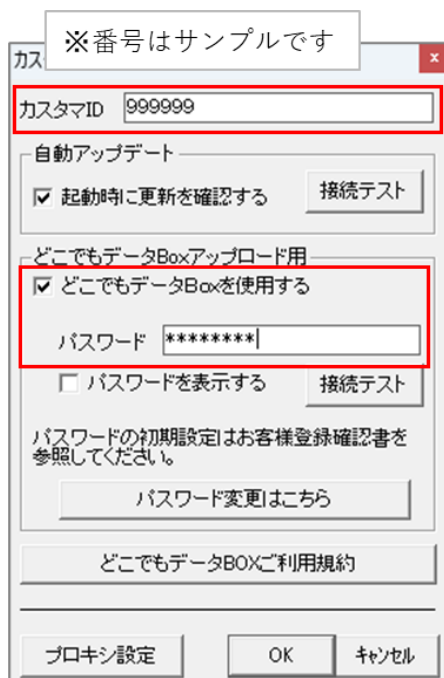
どこでもデータBOXの設定方法

まずは、どこでもデータBOXの設定を行いましょう。

この設定は、物件を作成するPC□データを受け取りたいPCのどちらも必要です□
タイトル画面から【カスタマID設定】を開きます。



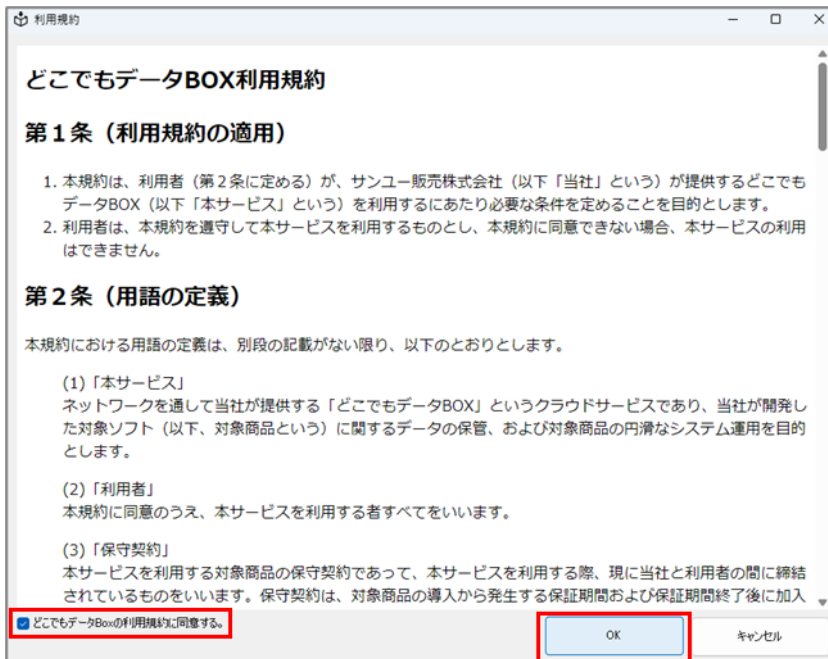
カスタマIDの「どこでもデータBOXを使用する」チェック・パスワードの3点を設定してください。



カスタマIDやパスワードは導入時にお渡ししているお客様情報登録完了書(ピンクの用紙)に記載しています。
2023年3月1日、セキュリティ強化の観点からどこでもデータBOXのパスワード変更が一斉に実施されました。
2023年2月以前にソフトを導入されているお客様は、「どこでもデータBOXパスワード変更のご案内」をご確認ください。

不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

OKボタンで画面を閉じると、利用規約同意画面が出ますので、「同意する」チェックを入れ「OK」をクリックしてください。



これで設定完了です！

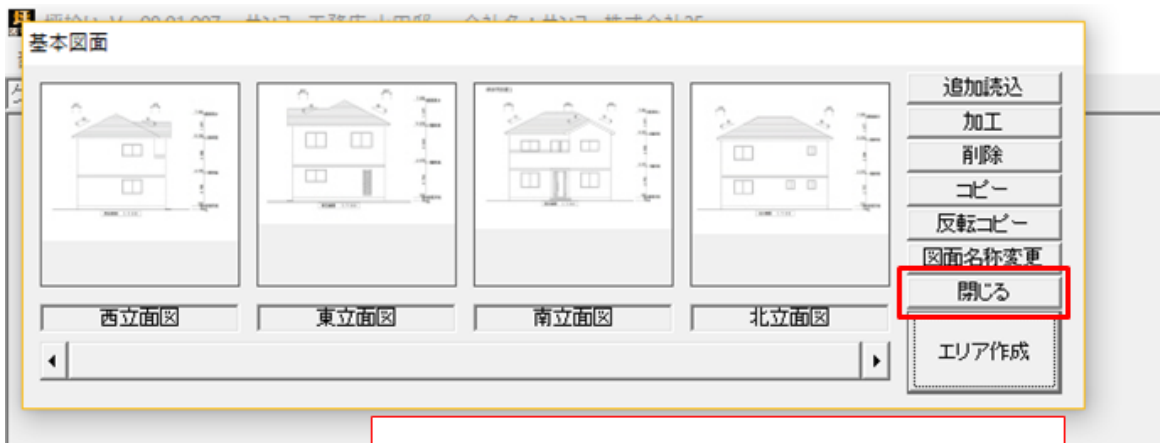
アップロード方法

どこでもデータBOXを設定した直後は、ローカルの物件データが全てアップロードされるわけではありません。

どこでもデータBOXをご利用の際、物件の入力画面を開き、【終了】で閉じたタイミングでアップロードされます。



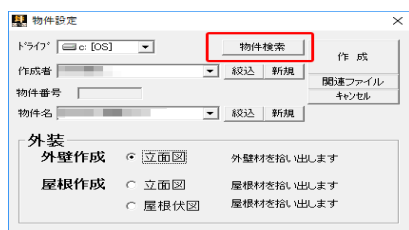
図面保存だけをした状態で、【閉じる】で終了してしまうとアップロードされません。必ず入力画面まで入るようにしてください。



図面を保存後、【エリア作成】に入らず【閉じる】で閉じてしまうと、どこでもデータBOXにアップロードされません。

他のPCからデータをダウンロードする方法

1. 【スタート】ボタンをクリック。
2. 【物件検索】ボタンをクリック。



坪拾い

物件検索

ドライブ: c: [OS]

作成者: すべて

物件名: すべて

作成日時: 年 月 日 ~ 年 月 日

更新日時: 年 月 日 ~ 年 月 日

種類: 外壁 屋根立面 屋根伏せ

物件選択
キャンセル

絞込 クリア

作成者	物件名	外壁	屋根立面	屋根伏せ	作成日時	更新日時
		○	[DL]	[DL]	-	2016/11/05
				[DL]	-	2016/11/08
				[DL]	-	2016/12/08
				○	-	2016/10/14
		○		○	-	2016/10/18
		○	○		2016/06/23	2016/06/23
		○		○	2016/05/11	2016/05/10
		○			-	2016/10/19
		○		○	-	2016/09/09
		○		○	2016/10/29	2016/10/29
			[DL]	[DL]	-	2016/11/02
		○		○	2016/10/29	-
		○		[DL]	-	2016/10/29
		○	[DL]		-	2016/11/01
		○		[DL]	-	2016/11/01
		○			2016/11/04	2016/11/04
		○			2016/11/04	2016/11/04
		○			-	2016/11/04
		○	○		2016/07/27	-
		○	○		2016/07/20	2016/07/25
		○			2016/07/27	-
		○			2016/07/27	-

フォルダサイズ: 25.46 MB

別のパソコンで作成されたデータを含む物件の一覧が表示されます。

「○」は自分のパソコンで作成したデータ、

□□DL□□は他のパソコンで作成したデータがあることを意味しています。

目的の物件をクリックで選択し、【物件選択】ボタンをクリック。

物件設定画面に戻ると、選択した物件情報が入っていますので、【作成】ボタンで進んでください。

呼び出しできるのはどこでもデータBOXの利用設定をした後に拾い出し（アップロード）をした物件データのみになります

関連記事

坪拾い・平兵衛くん共通

□どこでもデータBOX設定ができない場合

□DDBOX□どこでもデータBOX□利用時の【関連ファイル】の使い方

坪拾い

□部材登録を反映させる方法